

令和6年度 第1回西区地域公共交通検討会議 会議概要	
開催日時	令和7年1月20日（月）午後3時00分～午後4時30分
会 場	坂井輪地区公民館4階 講座室2
出席者 （敬称略）	西区自治協議会 山賀昌子、伊藤健一、伊藤正弘、伊藤甲一 コミュニティ佐潟バス運営委員会 高島圭介 内野上新町バス運営委員会 古俣雄次 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 山岸拓人 新潟西警察署交通課 課長 秋山圭介 新潟市ハイヤータクシー協会 専務理事 新田文雄 新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 安達邦和、稲家雄太 新潟交通観光バス株式会社営業部運行課 野俣昌幸 都市政策部都市交通政策課 主事 牧岡花梨（代理） 西区役所地域課 課長 兼島智子 西区役所建設課 課長 丸田喜之
欠席者 （敬称略）	なし
事務局	西区地域課4名
主な議事	1 開会 ○事務局より、資料1に基づき説明がありました 2 議事 （1）西区生活交通改善プラン（後期計画）の策定について ○事務局より、資料2に基づき説明がありました （2）西区生活交通改善プラン（後期計画）案について ○事務局より、資料3に基づき説明がありました □主な質疑・意見は、以下のとおり 第6章 西区の具体的な交通施策について 【区バス、住民バスの継続的な見直しについて】 ○利用状況やニーズ調査を踏まえて、随時、見直していくことになると思うが、バス以外の新たな移動手段については、ある程度調査を行ってから具体的な研究を行うなど、全体的な施策の順序立ても必要と感じた 【新たな移動手段の調査、研究について】 ○タクシーは通院利用の需要が多いように、公共交通機関ごとにニーズは多様化している。ライドシェアも他区で運用されてはいるが、

主な議事	効果的な地域とそうでない地域もあると思う、適材適所で考えて欲しい ○新たな移動手段について考えるのは行政や地域だけでなく、交通事業者も協力できる部分も大きいことから、「交通事業者も含めて」といった文言も入れた方が良くと思う ○すでに住民バスの運行維持が難しくなっている地域もある、その地域のニーズに即したバス以外の新しい交通手段やサービスも柔軟に検討していくことが必要と思う 【小針駅の乗り入れについて】 ○黒埼地区では最寄りの交通機関の一つとして小針駅を利用している方も多い。利便性も向上すると思うので、ぜひ進めて欲しい。 【情報発信、運行団体、地域との連携について】 ○公共交通を維持していくには、市民の意識を変えていくことが重要と感じる。情報発信も大事だが、もう少し踏み込んだ対策も必要ではないか ○交通に関する課題やニーズは地域によって様々であることから、地域住民の方々が課題解決に向けて話し合える場の提供、支援も必要と感じた 3 その他 ○各団体より、地域公共交通に関する意見交換、情報共有を行いました 4 閉会 ○次回は書面開催とし、本日の会議で出たご意見等を踏まえた最終案を送付し、書面にて意見聴取を行うこととしました
傍聴者	0名